

第7回青葉通駅前エリアのあり方検討協議会 将来ビジョンの検討について

目次

1. 8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)
2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況
3. 今後のスケジュール
4. 情報発信
5. 本日、ご議論いただきたいこと
6. 次回 第8回協議会の予告

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

2

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

昨年度までの実績と今年度の方針

社会実験の実施・効果検証



協議会で検討した「エリアづくりの3つの視点」について、効果検証を実施

利活用空間により、多世代による多様な活動、交流、滞在等の新しい魅力や他エリアへの回遊を生み出せるエリアとしてのポテンシャルを確認



今年度の方針

「仙台の顔」としてのエリアの将来ビジョンについて、
官民で「共通の認識」を持ち、検討を進める

※社会実験時に青葉通駅前エリアが各年代・属性からどのような認識をされていたか
※青葉通駅前エリアに求められるニーズ（利用目的・機能性・規模感）を検討

3

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

駅へのアクセス性と今後検討する新たな魅力(求められる機能・空間・要素)の関係性

駅へのアクセス性

市としては、
仙台駅は「仙台の重要な交通拠点」

・H24～R5にかけて、仙台駅周辺の
再整備を実施

【委員の意見】

青葉通が他の通りと異なる最大の要素
・「仙台駅につながる道。アクセス性は重要」



将来ビジョン検討においては、
「駅へのアクセス性確保」の要素を
十分に踏まえる

「新たな魅力」の要素 (活動・交流・滞在など)

【社会実験では・・・】

・アンケート回答のうち、
全体の7割が「良い評価」との意見

・「楽しい」「嬉しい」などの好印象を与えた



顔に「表情」を加えることで、
顔をより「豊かに」できるのでは？

「駅へのアクセス性」は駅前エリアの重要な要素であることを念頭において
「広場化」「車線削減」ありきではなく、
「新しい魅力」の要素である機能・空間を沿道開発との連携を見据えながら検討

【それぞれのバランス感が重要】

4

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

将来ビジョンの策定目的と構成等

将来ビジョンの策定目的

「仙台の顔」として、このエリアの将来のあり方について
官民で「共通の認識」のうえ検討した結果を多様な主体と共有するため



青葉通駅前エリアの将来ビジョン構成案は次ページのとおり

【留意点など】

- ①「将来ビジョン」は決まりきった形はなく、構成は決まっているものではない
- ②沿道開発との連携を見据えながら検討
⇒皆さんの意見を尊重しながら構成を検討
- ③広場化、車線削減等の形状に関することはビジョンに盛り込まない
- ④理念、ビジョン策定後のビジョン実現に向けた行動指針（アクション）、ロードマップ、推進体制等を盛り込む

5

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

将来ビジョンの構成と他都市事例

	青葉通駅前エリアの将来ビジョン (構成案)	定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030	御堂筋将来ビジョン (大阪市)	自由が丘未来ビジョン (東京都目黒区)	柏の葉ウォークアブルデザインガイドライン (千葉県柏市)	ひろさき、このさき、VISION BOOK 2050 (弘前市)
策定主体	青葉通駅前エリアのあり方検討協議会	定禅寺通活性化検討会	大阪市	自由が丘エリアプラットフォーム	柏の葉アーバンデザインセンター	中土手町まちづくり協議会 (文化交流エリア周辺地域エリアプラットフォーム)
エリア指定・対象エリア	○	● 区域線を示さず 大まかなエリアを提示	● 広域図を提示 (具体的なエリアは未記載)	● 対象区域を 明確に線引き	△ 駅周辺エリアを対象 (エリア内の歩行者ルートを設定)	● 区域線を示さず エリアの鳥瞰図を掲載
理念・基本方針	○	●	●	●	●	△ 項目出しはないが、 目的等で記述あり
将来形(将来イメージ)キービジュアル	×	● エリア毎の ショットパース	● 鳥瞰パース	● 方針・エリア毎の ショットパース	×	● エリア毎の ショットパース
アクション(行動指針・取組)	○	●	●	●	●	●
ロードマップ	○	●	● 時期の記載なし	×	×	●
推進体制(関係図)	○	●	●	●	×	●
策定後も内容の更新を 続けていくもの	○	×	×	●	×	●

将来ビジョンの構成は、策定主体や地域によってそれぞれ異なる

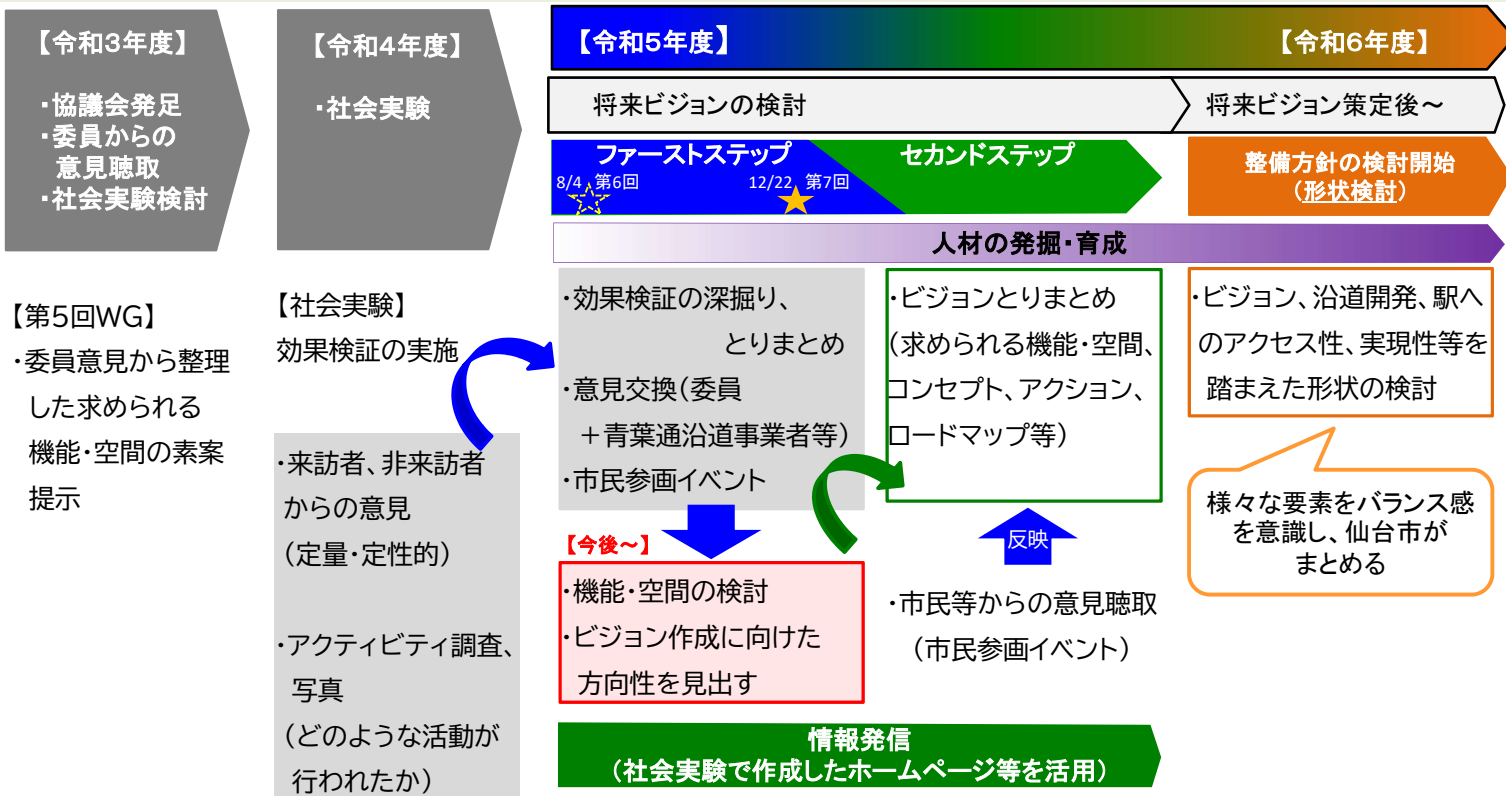
6

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

※8/4資料からの更新
・現在の位置
・【今後～】の追記

青葉通駅前エリアにおける将来ビジョン作成の進め方イメージ(案)

★ 現在の位置



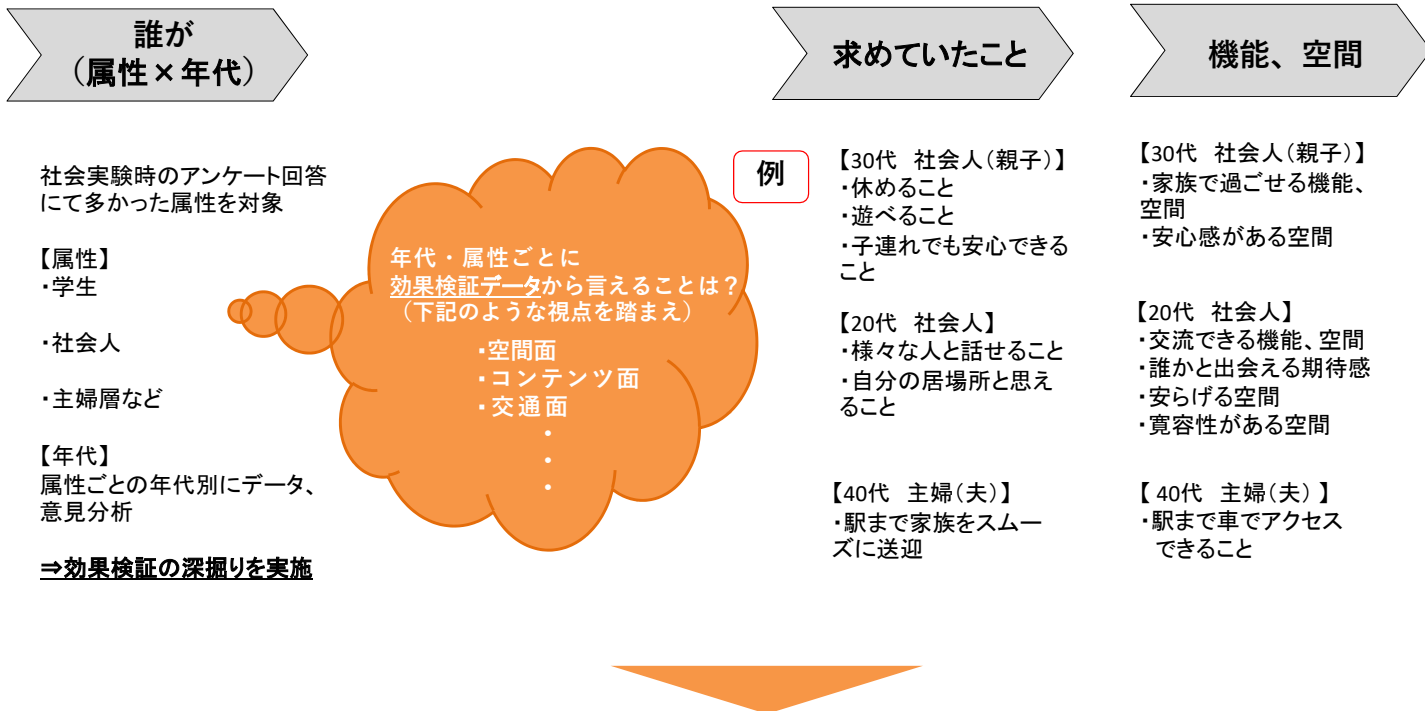
沿道開発との連携 (あり方検討状況を随時情報共有・意見交換)

7

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

青葉通駅前エリアに求められる機能、空間

令和4年度の社会実験を踏まえた、今年度における検討イメージ



将来ビジョン作成に向けた”素材集め”と”とりまとめに向けた整理”を進める

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

青葉通駅前エリアに求められる機能、空間

令和4年度の社会実験を踏まえた、今年度における検討イメージ

社会実験で確認できた利用風景

例:居場所・遊び場となる空間(10歳以下の子ども)



遊具の設置



平日の保育園の散歩での利用

例:交流が起きる空間(10代～高齢者までの老若男女)



ストリートピアノ



焚火

アクティビティ

- ・しゃがみこめる、休める
- ・お絵かきできる
- ・遊べる
- ・走り回る
- ・親や先生が見守れる場所

- ・パフォーマンスができる
- ・何かを囲んで話ができる
- ・誰もが滞在できる
- ・イベントの開催ができる

空間的設え

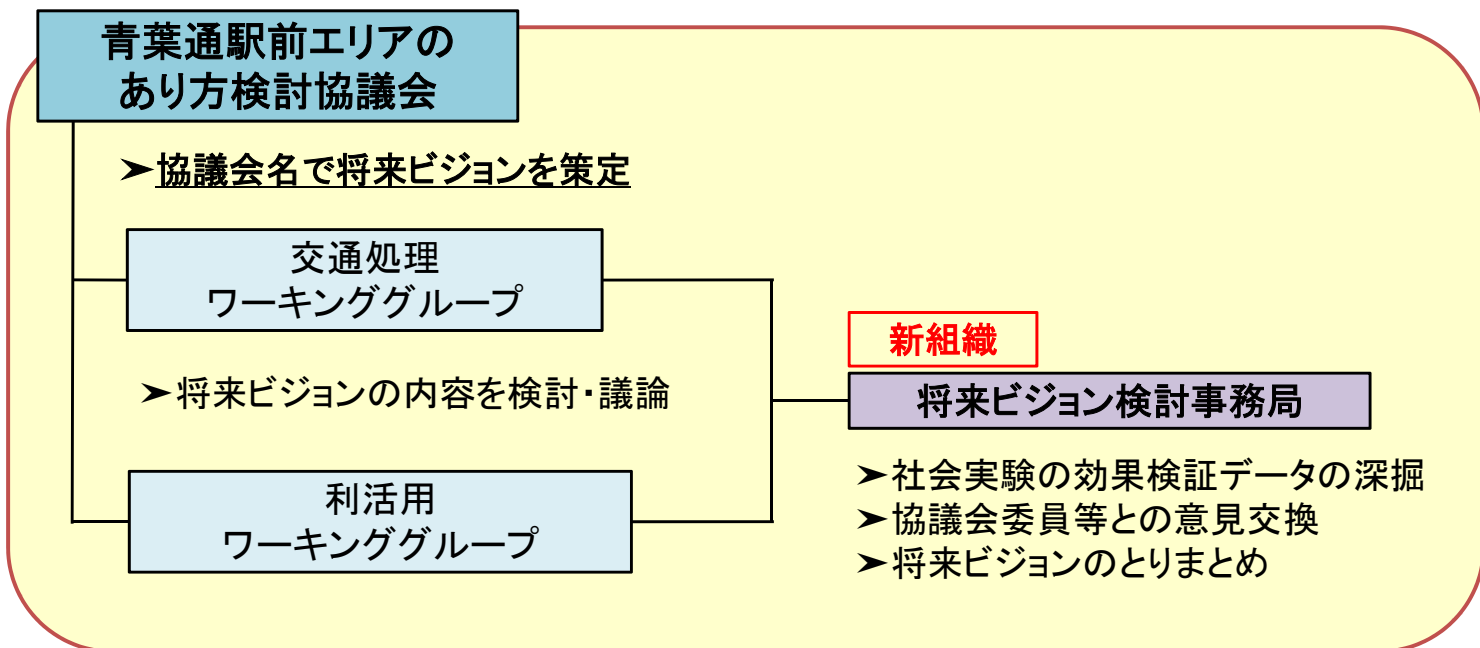
どのような空間的設えにより…

- ①コンテンツが…
- ・行えた？
 - ・人が集まった？

- ②企画したコンテンツ以外のアクティビティが…
- ・自然に行われた？
 - ・居場所が感じられた？

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

将来ビジョン作成のための新体制



将来ビジョンの素案を作成する組織として
協議会内部に「将来ビジョン検討事務局」を新たに設ける

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

将来ビジョン作成のための新体制

将来ビジョン検討事務局 ～社会実験に携わって頂いた方々を中心に構成～

役割		担当			R4年度社会実験担当
統括・調整		仙台市都心まちづくり課・交通政策課			
連携・協力		青葉通まちづくり協議会			
効果検証データ 深掘	とりまとめ	委員	FOLK GLOCALWORKS	奥口 文結	ブランディング
		委員	KAI ARCHITECTS	貝沼 泉実	空間デザイン
			TORCH	小松 大知	ビジュアルデザイン
			(一社)ONE TOHOKU HUB	伊藤 愛発	プロモーション
	意見交換、 人材発掘の 機会づくり	委員	あいだ研究所 代表	岩間 友希	情報整理 定性調査サポート
			Studio Soda Sendai	昆野 沙耶	情報整理 定性調査サポート
		エンスペース(株)	伊藤 小百合	コンテンツ	
効果検証データ分析・サポート		(株)オリエンタルコンサルタンツ			

8/4 第6回協議会内容の振り返り(今年度の進め方)

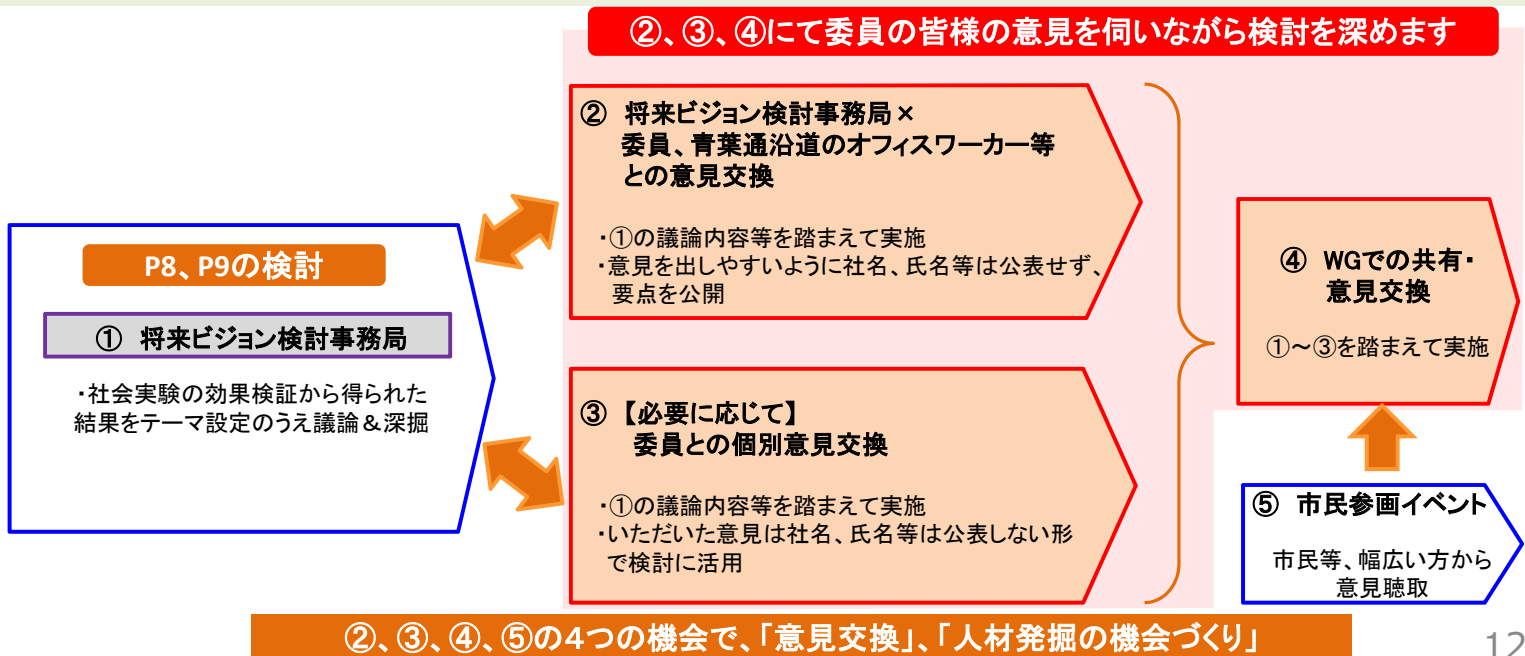
青葉通駅前エリアに求められる機能、空間

令和4年度の社会実験を踏まえた、今年度における検討イメージ

社会実験における効果検証の深掘りから得られたこと
(将来ビジョン作成に向けた“素材”や年代・属性ごとに求められる機能・空間・要素)

青葉通に関わる方々と、各立場の前提となる考えも踏まえた意見交換、意見聴取を実施

???どのように実施していくか???



12

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

- ①社会実験の深掘り(分析会)
- ②市民参画イベントの実施
- ③効果検証についてとりまとめた冊子の作成
- ④青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘

14

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

①社会実験の深掘り(分析会)

[概要]

令和4年度に実施した青葉通仙台駅前エリア社会実験「MOVE MOVE」にて得られた数値データをもとに、将来ビジョン検討事務局のメンバーで意見を出し合い、検証を深掘りする。

[目的]

膨大な数値データの結果報告で終わらせず、**将来のエリア作りにおいて、具体的にどのような点に留意すべきかを、事実・ニーズ両面から洗い出すため。**

社会実験でコンセプト、空間・ビジュアルデザイン、コンテンツそれぞれに携わったメンバー目線で意見を出し合うことで、実験した限定的エリアと恒常的なエリアの比較がしやすい。

15

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

①社会実験の深掘り(分析会)

[実施]全5回 各2時間

第1回 8月29日(火)

学生の視点で振り返り・意見出し

第2回 9月 8日(金)

社会人の視点で振り返り・意見出し

第3回 9月22日(金)

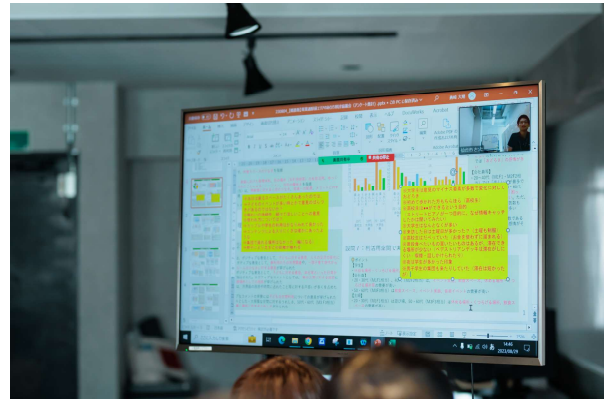
主婦・主夫の視点で振り返り・意見出し

第4回 11月14日(火)

アクティビティ調査を元に振り返り・意見出し

第5回 12月 5日(火)

居心地調査を元に振り返り・意見出し～まとめ



16

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

①社会実験の深掘り(分析会)

社会実験「MOVE MOVE」のコンセプト

青葉通仙台駅前エリアの[ひととなり]を見出し、[新しい流れ]を生む。



分析会で見えてきたこと

[子ども・学生・社会人・主婦/主夫]が[居心地のよい賑わい]を望んでいる。

*ひととなり→子ども・学生・社会人・主婦/主夫を想定

*新しい流れ→居心地のよい賑わい

*人が多い=「居心地のよい賑わい」ではない

17

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

① 社会実験の深掘り(分析会)

「居心地の良さ」を二つに分類すると...

静的な居心地

- ・受動的、安らぎ、間接交流、合流、くつろげる、休憩
- ・話したり参加したりはしないけど同じ空間にいることは楽しむ
- ・緩やかに繋がっている満足感、拍手、笑い、管理されている安心感
- ・個々人の楽しさ(携帯を見ながら居心地良く過ごしているパターン)など

動的な居心地

- ・積極的、直接交流、日常の延長のイベント
- ・コミュニケーション量が多い、アクティブな楽しさ
- ・人を動かす仕掛け、驚きのあるコンテンツ、楽しそうな雰囲気

18

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

① 社会実験の深掘り(分析会)

居心地が悪いのは？

- ・空間に人が密集してしまっている時(物理的)
- ・自分と違う属性の人が集中してしまっている時(心理的)
例)子ども・親子連れが集中している時に一人
(空間的に余裕があったとしても、心理的居心地の悪さを感じてしまう)
- ・声をかけられたくない時、人と関わりたくない時
- ・イベントコンテンツを入れると来訪者が増える
→人口密度も増える →静かな居心地が損なわれる

19

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

①社会実験の深掘り(分析会)

公園との違いは？

- ・空間の大きさは「目」が届く広さが居心地が良い
- ・心理的にちょうど良い距離感、テリトリーに踏み込みすぎない設え
(ベンチの位置、目隠しなど)
- ・公園とは違う新しい景色を見られる場所
- ・公園は危ない(石ころ、動物のふんなど衛生的にも心配)
- ・人工芝の安心感(恒常的にはどうかは要検討)
- ・無法地帯ではない、人目があって管理されているという安心感
- ・警備員さんが一人いるだけで何かあったら助けてと言える

20

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

①社会実験の深掘り(分析会)

社会実験をする前を0(何もしていない、現状、停滞)とすると...

静的な居心地の良さがある空間を+1の空間(平熱、心地よさをアップ)

→平日日中の使われ方が理想か

動的な居心地の良さがある空間を+2の空間(微熱、アクティブさをプラス)

→休日・平日夜の使われ方が理想か

●参考

- ・仙台在住→ほっとする駅前でありつつ、見たことがない景色は見たい
- ・出張・観光客→新しい驚き、好奇心、興味を惹きつけられる
- * 利便性だけを求める駅では交流は生まれない

21

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

②市民参画イベントの実施

[概要]

令和4年度に実施した「MOVE MOVE」がどのような目的で実施され、現状でどのようなことが分かったのか、さまざまな立場の市民が質問する人、実験に関わった人が答える人としてクロストークをすることで「MOVE MOVE」を振り返るイベントを実施。

会場とオンライン配信両方でリアルタイムチャット機能を活用し、賛否両方の意見や質問を受け付けた。

[目的]

「MOVE MOVE」がどのような目的で実施され、現状でどのようなことが分かったのかを、**広く市民の方々が知り、考えることができるようにするため。**

22

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

②市民参画イベントの実施

[実施]

- 第1回 10月15日(日)10:30～17:00

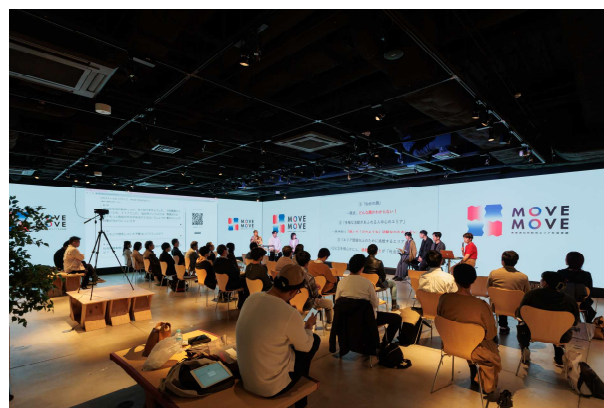
トークイベント「MOVE MOVEとは何だったのか？」

会場：CROSS B PLUS

イベント詳細・映像アーカイブ

<https://aoba-dori-move.com/2023/10/27/post-115/>

- 第2回 2024年春頃実施に向けて調整中



23

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

②市民参画イベントの実施

<アンケート調査結果>

◆市民参画イベントに参加して感じたこと

社会実験の結果や本取組に対する運営者の想いが伝わるとともに、目的の明確さ等に対する指摘があった

- 昨年の社会実験では、こんなことを考えて作られてたんだ！という種明かしを知ることができて嬉しかった。
- お話を聞き、仙台の街への熱い思いが伝わってきた。たくさん素敵な思いがこめられて行われた街づくり(社会実験)について、市民が知りきれないということはずごくもったいない。
- 社会実験での結果を今後どのように活かしていくのかという部分も興味があるので、是非またそういったことも知る場があったら嬉しいです！
- 「まちづくり」や「青葉通りをどうしたいか」を考えるきっかけになった。
- すごく詳細な分析がされており、これを活かして今後の政策に活かしたり地元の大学のコンテンツとして考える機会もあるといったと思った
- 市民が自分ごととしてまちづくりに参画できる仕組みづくりはすごく良いと思った。あとは都市圏に若者が流れてしまうのをどうにか食い止め、まちで活躍する若手が増えていけばいいなと感じた。
- いろんな人の力やエネルギーが取り入れられていて大変良いと思う。
- 社会実験なのにロゴだとか、枝葉の話だとか、完全に市のハンドリングで、やりたい放題を促している。予算があまったのか、自慢話イベントまで、社会実験に対して賛否両論があったことをチャット上で知ることができた。協議会においていろいろな検討がされたようですが、庁内での連携はどうだったのかが気になった？
- 目的がはっきりしていないと感じました。人の流れを変えたい、青葉通の景観を変えたい、仙台のイメージを明確にしたい等々だんだん広がりがすぎて基本が見えなかった。取り敢えずやってみることは、評価できるが、将来性を考えるならば、もっと幅広い年代のかたの参加があっても良かったのでは

◆30年後、仙台駅前はどのようになってほしいか (キーワード3つ/1人)

空間に対して、憩えること(落ち着く・優しさ等)、賑わいがあること、回遊の拠点であること、多様性・寛容性に関するものが挙げられた

自然系	自然、木陰、みどり(自然と都市の融合)、若葉、自然との共生、ケヤキが香、自然環境、緑、風	9件
雰囲気(憩い)	ゆったり、ぼーっとできる、落ち着ける、心地よさ、温かさ、温かい街、優しさ、穏やか、余裕無償で長時間座れる、美しい音楽	10件
雰囲気(賑わい)	集まり、人と集まれる、里、賑わいキラキラ社会人	4件
拠点性・回遊性	仙台の玄関口、送客拠点、都市の他エリアへの送客エンジン	3件
多様性・寛容性	都市環境、両義的、受け入れ、多様性	4件
その他	フィットンチッド	1件

24

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

②市民参画イベントの実施

<参加者からのコメント>

◆クロストーク①「なぜ、MOVE MOVEをやったの？」

- 社会実験のねらいとしては、仙台の顔とは何か、日常性的風景、イベント感といった内容に言及したものが見られた。
- その他に、市民の関心どころとしては、ペDESTリアンデッキや旧さくら野の活用、予算、他都市等の参考事例についてであった。

カテゴリ	内容
社会実験のねらい	理想の風景は、日常的な風景を目指しているのか。 「仙台の顔」が賑わいの言葉で説明されたが、風景としてどういったイメージなのか？ イベントやワークショップ等のコンテンツをたくさん開催したとのことですが、それがないと市民は集まらなかったのか？ イベントとして見えていいのかなと思いました。社会実験だと私は後から知りました。楽しそうじゃないとペデから降りていかなかったです。降りたからこそこうやってこのイベントにも参加してみました。にわか参加ですみません！ 今後の開発が行われる青葉通りならではの社会実験なのだと思います。道路空間にはみ出たからこそ生じた問題をむしろ建物側にはみ出るとかも考えられると思います。
予算・事業費	いくらかかりましたか？
参考事例	社会実験実施にあたってのモデルとした他都市での事例はありますか？
担い手の発掘	社会実験をやってからスタッフとして参画したい人はいたか？ その場合、どうされたのか？
回遊性	歩く距離のビッグデータが説明され、駅前にとどまっていることも課題とあったが、仙台以外の、比較されるまちでは、まちを歩く人たちはどのくらいの距離を歩くものなのか？ なぜ、ペDESTリアンデッキから、青葉通りへ降りてもらわなければいけないのか？
効果検証	調査が細かくてびっくり！こんなにビッグデータが取られてるのか！
広報	市民の感覚だと、イベントを実施する旨の広報があったと思う。市民への広報のねらいは？ 課題にもあったように、広告から目的が分からず、当時調べた結果から、交通規制をして交通量を調べるといことだと認知していた。今回、話を聞いて、こんな面白そうな企画をされてたことを知り、参加したかったです。
天候	雨天時の対応について、どのような検討がされたのか？

25

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

②市民参画イベントの実施

<参加者からのコメント>

◆クロストーク②「どうして、MOVE MOVEなの？」

- ・ 沿道建物との関係性として、道路だけでなく周辺建物との連携に関する意見が多数寄せられた。
- ・ 交通面については、渋滞に関する意見もあるが、将来的にみた際のことを考える意見も挙げられた。
- ・ ロゴ・デザインについては、今後の継続や社会実験時の浸透具合を問う質問もあった。

カテゴリ	内容
社会実験の意義	<p>ここで車線規制してまで行う必然性はあるのでしょうか？</p> <p>子育て世代に好評だったというのが一番の成果なのか？</p> <p>色んな社会実験やイベントを見ると、ターゲットを明確にする＝目的化してしまう。そこから漏れてしまう人に来てもらえないことは、多様性を大事にしていくこれからの街に対して、対象が閉じてしまう。目的がなくても行くことができた今回の取り組みはよかった。</p>
沿道建物等との関係性	<p>今回は歩行空間を広げるために道路をいじめた形でしたが、建物側の足元を含めて考えることもできると思った。</p> <p>旧さくら野百貨店やEDENに隣接する駐車場などの空洞化、ロフトの味気ない裏が丸見えなところは問題だと考える。街区内で異なる不動産会社が開発をしていることが大きい要因だと思っているが、企画の中でそうした不動産開発者との連携はどのくらいあったのか？</p> <p>エデンは再開発を前提とした仮設的なものであり、将来的にはエデンとロフトのある街区全体が一体的に計画された上で広場化を行うことが、エリア価値向上につながると思うが、そうした想定はコンセプト/空間デザインの上で反映されているのか？</p> <p>人の中核は青葉通りでなく、ペDESTリアンデッキである。</p>
空間ニース	長いアーケード通りを歩くと結構疲れることがある。来訪者や仙台駅を起点に行動する人が、寄り道して一休みできる場所があるのはいい。
ロゴ・デザイン	<p>move moveのロゴや色を活かして今後のイベントでも使う予定や構想はあるか？</p> <p>ロゴマークがあったことを初めて知った。社会実験にロゴマークがある意義はあるのか？今回市民に浸透したと思うか？</p>
交通面	<p>交通面は心筋梗塞より上半身動脈硬化ではないかと。周辺も交通混雑していたし。空間での人の活動や、滞在、交流、登壇者が語る取り組みのプロセスは滞っていたものが流れ始めた感じ。</p> <p>車両の交通量は、減少傾向だと聞いたことがある。10年もすれば、動脈硬化の状況も多少なりとも変わってくるかもしれない。</p> <p>交通規制には反対につきもの。マイナスな声は悪くないが、デザイナーや建築に関わる人が参画に不安を感じないようにしてあげて欲しい。</p>
広報	泉区在住泉区勤務だが、全く知らなかった。仙台市というよりは、青葉区の企画？もっと告知の仕方があるのではないかな。

26

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

②市民参画イベントの実施

<参加者からのコメント>

◆クロストーク③「MOVE MOVEどんなことをやったの？」

- ・ 学生や若者等の担い手を巻き込んだことを評価するコメントが複数見られた。
- ・ 人のつながり・交流として、世代を超えた交流や人の輪、みんなで共有する居場所としての評価も挙げられた。

カテゴリ	内容
社会実験の意義	<p>東口のヨドバシ然り、仙台が段々リトル東京化してきて悲しいところだったので、街の活力のようなものを感じられて嬉しかった。</p> <p>色んな声はあるが、初めて他県の友人に対して、自慢したくなる誇らしい取り組みだったと思った。</p> <p>どこまでいっても青葉通で行う必然性を感じない。名掛丁や朝市への導線を検討する方が経済効果が上がるのでは？</p>
担い手・協力者	<p>仙台の大学や団体とコンテンツを作っていくのは、若者の意見や思いが入って良さそう。</p> <p>若い作り手の方の想いや生の声が聞けてよかった。</p>
学生の関わり	<p>高校では、探求学習が必修化され、自分たちで課題を見つけて、掘り下げ、探求していく授業がある。そういう場として、行政が連携して生徒たちが気軽にまちが使えると良いと思った。</p> <p>学生の皆さんが社会実験(まちづくり)に参画されているのは素晴らしい。さすが学都さんだ！</p>
コンテンツ	<p>単発の企画が定着しないことから「イベントの街」なんて言われる仙台だが、コンテンツだよりにならないような工夫はなにかされたのか？非日常感が新鮮で素敵な今回の企画が、日常になったあとどのように継続されていくのか気になる。</p> <p>観光案内所はあちこちにあるが、体験をして観光する場所を決めるような企画になって素敵。</p>
空間デザイン	<p>五感で楽しめる空間めっちゃ最高だった！ 原木・樺の香りが駅をおりてすぐ感じれるのすごい存在感。</p> <p>乳幼児のお子さんが、畳の上で気持ちよさそうにしていたのを思い出した。</p>
空間ニース	核家族化の進行や地域コミュニティの衰退で、「悩みを打ち明ける場がない」人が増えたと思う。効率・デジタルばかりに目が行きがちな社会ですが、今回のMOVE MOVEのような場があることで「人」の繋がりが促されたいいなと思う。
交流	<p>繋がるうとした人とは繋がれる世の中だが、逆に繋がるうと思わないと繋がりがなくなっているのかなと思う。「場」があるからこそ生まれる世代も性別も跨いだ「人の輪」が出来てる様子が素敵だった。</p> <p>社会実験中、焚き火の場所で毎回会う人が居たり、初めましての人がごちゃ混ぜで同じ場所に居て、面白かった。</p>

27

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

③効果検証についてとりまとめた冊子の作成

[概要]

令和4年度に実施した「MOVE MOVE」がどのような目的で実施され、何が行われたのか、現状でどのようなことが分かったのかを、テキストと写真でまとめた冊子を作成する。

[目的]

- ・「MOVE MOVE」に関する散在している資料(実験準備までの様々な企画書、検証データ、写真)を一括整理してまとめ、活用しやすい形で保存するため。
- ・市民の方が、実験について知ることができるツールを作るため。

28

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

③効果検証についてとりまとめた冊子の作成

[内容案]

MOVE MOVEとは？

なぜ実験をやったのか？コンセプト など

MOVE MOVEができるまで

準備事務局体制、空間作りの過程 など

振り返り

行政・交通面視点、クリエイティブ視点、コンテンツ視点

MOVE MOVE調査結果

分析会を通してみえてきたこと など

市民からのQ&A

関係者からの声

29

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

④青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

[概要]

- 社会実験の結果を伝えながら率直なコメントや感じていることをカジュアルに話すトーク会を企画・開催する。
- 「青葉通ざっくばらんミーティング」と題した本企画 は本音を語り、青葉通を担う社会人同士が繋がっていくのがコンセプト。

※事前申込制で録音なしの小さな集まりによる意見交換であり、オープンな市民参画イベントとは異なる

[目的]

プレイヤーの発掘、本音で語るゆるやかなコミュニティを中長期的に形成していく

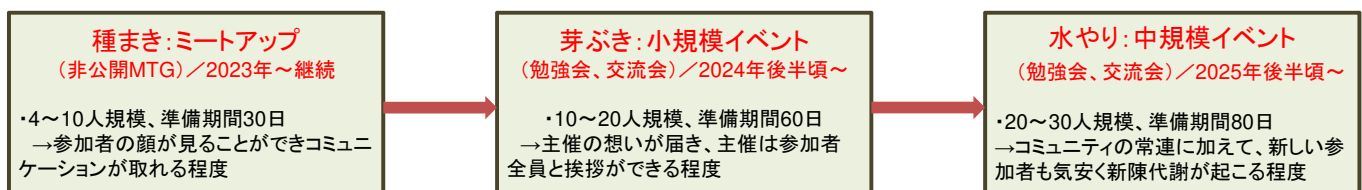
- 青葉通沿道に働くひとと繋がり、新たなまちづくりの担い手の発掘を行うことで、持続していくまちづくりコミュニティ形成を行う。
- 意見交換会などに参加してくれるようなプレイヤーを中長期的に発掘すること。

30

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

④青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

[コミュニティを育てていくSTEP]



[開催スケジュール(予定含む)]

開催日	参加対象者	参加したメンバー
プレ開催: 9/27(水) (本番開催に向けた予行練習)	社会実験に参加した方	ゲスト:2名 (大学生、経営者)
第1回: 11/29(水)	青葉通沿道で働く若い世代	ゲスト:6名 ・社会人6名 ・県外から移住1~5年目
第2回: 1/31(水) 予定	子育て中の方(予定)	募集中
第3回: 2/21(水) 予定	仙台居住歴5年以上(予定)	募集中

31

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

④青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

[参考:開催にあたってのコミュニケーションルール]

ざっくばらんミーティング
コミュニティールールについて

- ①録音や録画はいたしません
※テキストで会議録はしていますが、
「タテマエ・オフレコふだ」を持つと特殊効果が使えます！
- ②当日だけの呼び名をつけましょう！
役職や肩書きなど関係のなく、お話ししましょう！
そのため名刺交換などはミーティングの後に・・・
- ③よく聴き、よく反応してみましょう！
頷く、手を叩く、声を出すこと意外に、
「共感ふだ」持つと反応するのが楽しくなります！

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

④青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

ビジョンづくりに向けて検証した「3つの視点」
※協議会FWSでの議論から定まったもの

**視点1/仙台の顔としてのエリア
「賑(らしき)」を浮かび上がらせる**

・このエリアや仙台の個性や強みを活かしながら、様々な人がこのエリアに行きたくなり、訪れる人に仙台の第一印象として好印象を与え、市民が誇れるエリアにすることができると。

・イベントの役割として、他エリア(東北、仙台市内、都心各エリア)へ導くことができる。



**視点2/多様な活動があふれる人中心のエリア
「多様」を収集・分類化**

・楽しみ、ワクワク感、居心地の良さ、癒し、安心感、魅力、創意的な経験といった訪れる人の感情や活動を生み出し、様々な人が惹きつけられるエリアにできる。

・人との交流や出会いによって、イノベーションが生まれるエリアとすることができる。



**視点3 /エリア価値向上のために挑戦するエリア
「能動的」な活動・認識を収集**

・新たな魅力を生み出すことや、社会の変化に応じて変えていくことなど、このエリアにかかわる多様な主体がエリア価値向上のためにビジョンを共有し、挑戦する様々な流れを生むことができる。



交通規制と交通への影響

車線規制と一般車通行止め、バス停移転を実施

実験前



実験中



北側(旧さくら野百貨店側) 1車線規制 → 主にバス待ち空間として利用。
南側(EDEN側) 2車線規制 → 2車線分を主に活用空間として利用しました。
具体的には車線数の減少(一般車通行止め(路線バス・タクシーのみ通行可) / タクシー乗り場の一時的止 / EDEN側バス停を旧さくら野側、南側の歩道側に集約している)が人流がどぎっぴりな面からも採り取れます。

なぜペDESTRIANデッキで行ななかった?

「社会実験以前から、駅山形駅周辺沿線の両側が通行した結果、人や駅周辺に集中しているという声が多かったんです。実際に、仙台を訪れる人の行動動線が駅周辺中心から駅周辺から、南側の歩道側に集約していることが人流がどぎっぴりな面からも採り取れます。」

「駅周辺の歩道幅を狭くすることは重要ですが、すでに人が集中している場所に広域を設けても、目的や行動動線を生み出すような本質的な解決手段にはならないと判断して、もしも駅周辺にある商業施設を設けて、両サイドで人が集まることで、駅周辺に集約してあるような空間が必要だと感じました。」

Webメディア「仙台市」
「【仙台市】青葉通沿道のエリア社会実験 MOVE MOVEはどんなだったの?」より



あの場所で感じたこと

どう過ごせたか、感じたか

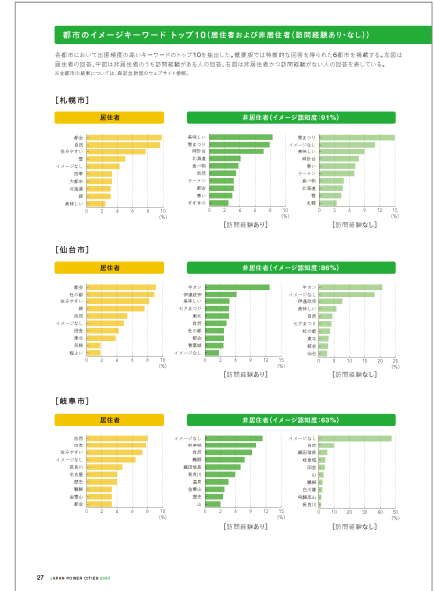
ゆっくり休めた、落ち着けた	82票	人が混雑し狭く感じた	15票
子どもを遊ばせることができた	61票	置かれているものを使っていいかわからなくて困った	4票
空間について			
自然(芝生やみどり)が感じられて気持ちがいい	67票	道路が近く、危険や不便さを感じる	10票
夜の明るさ(照明)が綺麗で良かった	11票	荷物搬入や駐車場の利用がしにくく、支障が出た	7票
音楽・雰囲気に対する人の声について			
いつもと違う活気が駅前にあっただけで楽しい・驚いた	117票	何をやっているかわからなかった	14票
ストリートピアノなどパフォーマンスができて楽しい	56票	音がうるさい、混乱した	4票

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

④青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

仙台の都市特性評価～日本の都市特性評価2023より～

- 国内136都市と東京23区を対象に、各指標がスコア化され、6つのグループに分けのうえ、レーダーチャートとして提示されている



森記念財団 都市戦略研究所「日本の都市特性評価」より引用
<https://mori-m-foundation.or.jp/ius/jpc/>

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

④青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

仙台市は合計スコアによる順位は7位

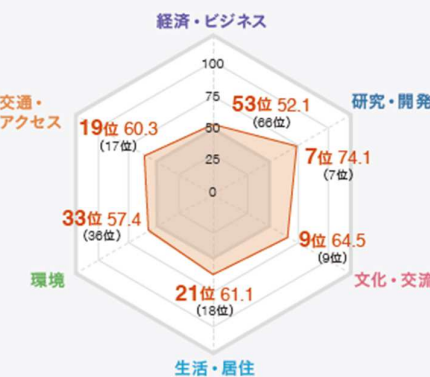
(参考:1位 大阪、2位 横浜、3位 名古屋、4位 福岡、5位 京都、6位 神戸、8位 松本、9位 金沢、10位 札幌)



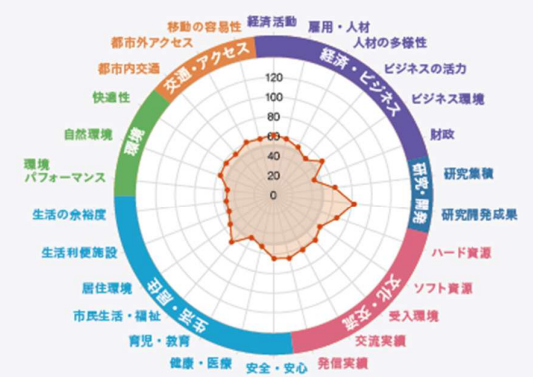
バランスのとれた総合力が強みの杜の都

仙台市は、**研究・開発**および**文化・交流**の2分野において高順位を獲得していることに加えて、他の4分野においてもバランス良く高評価を得ている。**経済・ビジネス**では、「人材の多様性」や「ビジネスの活力」において評価を高め、同分野の順位を上げた。**生活・居住**では「安全・安心」や「居住環境」のスコアを伸ばし、暮らしやすさの魅力をさらに高めている。「新たな杜の都」として選ばれる都市の実現を目指す同市は、そのバランス力が強みであることが明らかである。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



森記念財団 都市戦略研究所「日本の都市特性評価」より引用
<https://mori-m-foundation.or.jp/ius/jpc/>

2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

④青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

9/27
プレ開催

[参考:記録イメージ
(イラストルポ形式)]

事務局 岩間氏作成



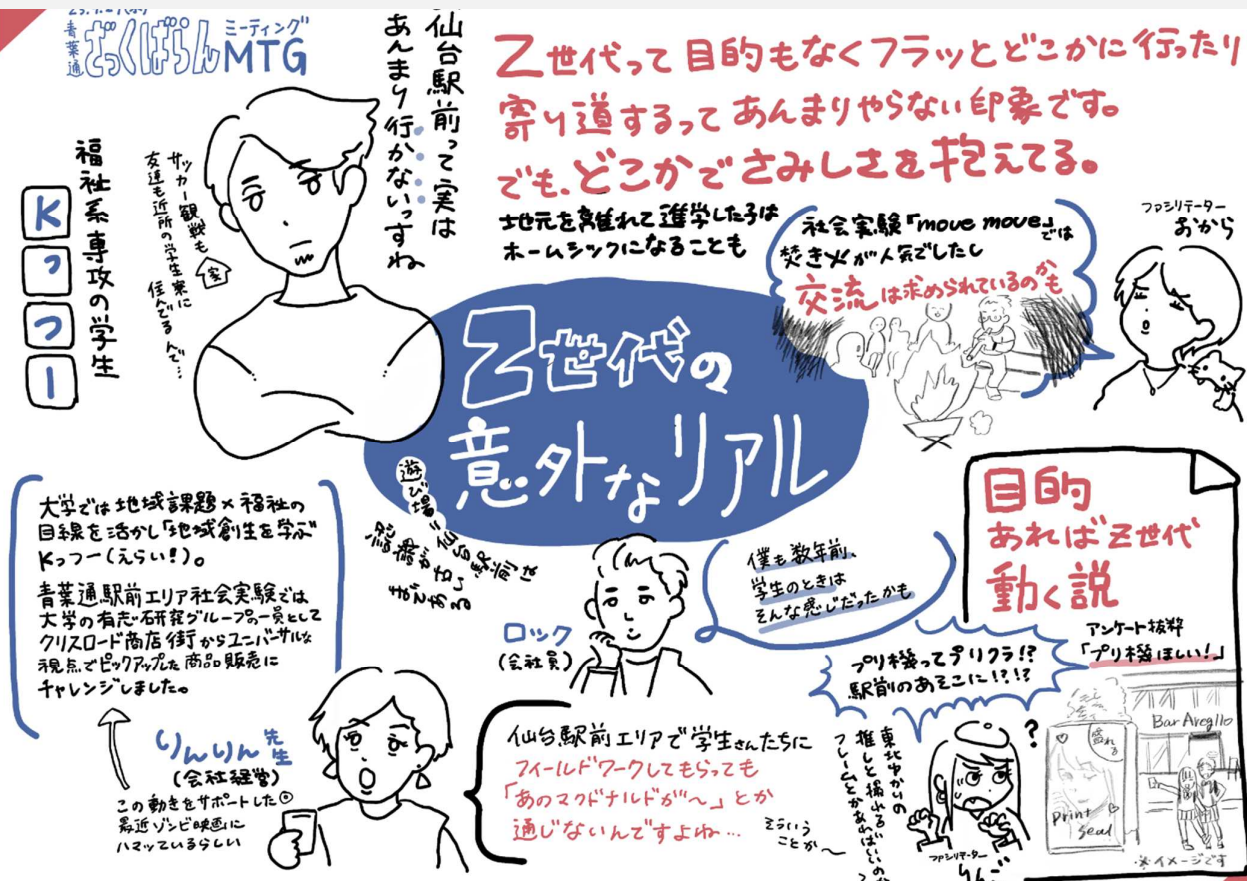
2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

④青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

9/27
プレ開催

[参考:記録イメージ
(イラストルポ形式)]

事務局 昆野氏作成



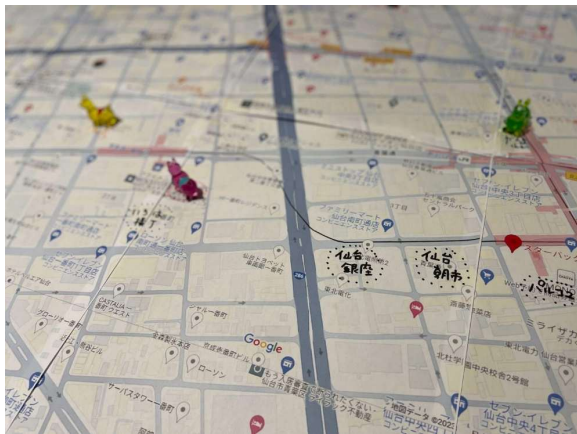
2. 青葉通将来ビジョン検討事務局 取組み状況

④青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘 (通称:青葉通ざっくばらんミーティング)

11/29 第1回開催

[第1回開催概要]

- 都市特性評価等の外部資料も参照しながら進行
- 「仙台は良い場所だが、観光地として案内しにくさもある」「青葉通特有のイベントができたらいいな」など過去・現在・未来それぞれの話題を語り合った。

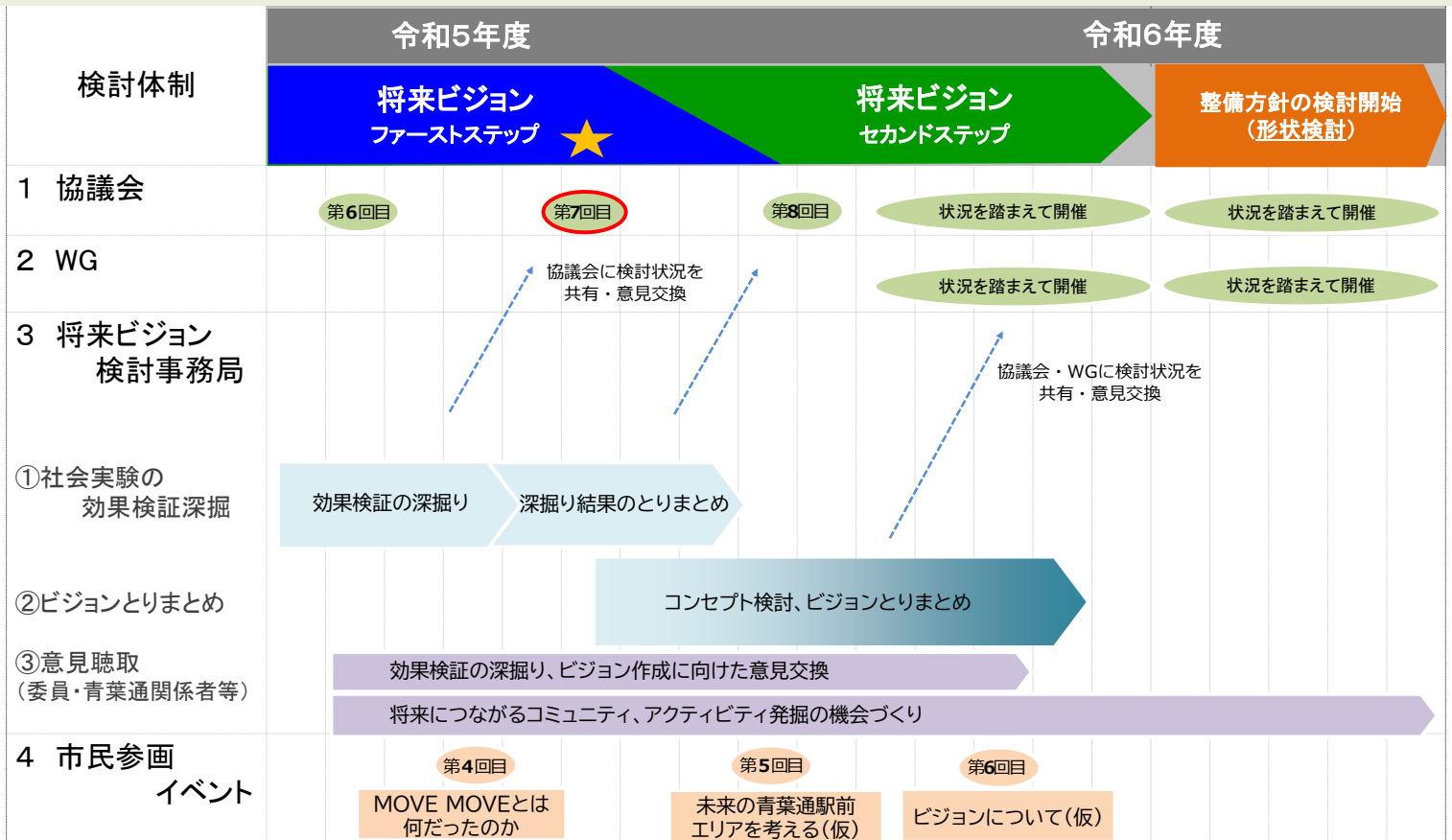


3. 今後のスケジュール

3. 今後のスケジュール

将来ビジョン作成に向けたスケジュール

※各ステップを丁寧に進めていくことが重要 ★現在の位置



沿道開発との連携 (あり方検討状況を随時情報共有・意見交換)

4. 情報発信

44

4. 情報発信

ホームページ(AOBA DORI MOVE)、Instagramを活用して将来ビジョンの検討、青葉通に関する情報発信を行っていきます。

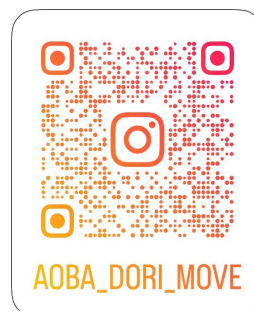
仙台・青葉通のひと・こと・ものを未来目線でご紹介するWebサイト

AOBA DORI MOVE



<https://aoba-dori-move.com/>

Instagram



https://instagram.com/aoba_dori_move?igshid=OGQ5ZDc2ODk2ZA==

45

5. 本日、ご議論いただきたいこと

46

5. 本日、ご議論いただきたいこと

<本日の協議会>

社会実験の効果検証の観点から**表情**について

<各委員との個別意見交換> ※1月~2月にかけて実施予定

このエリアの**顔の骨格**と**表情**について

顔の骨格

- ・沿道の開発との連携
- ・ケヤキ並木
- ・駅へのアクセス性
 - 仙台駅は重要な交通拠点
 - 「仙台駅につながる道」
青葉通が他の通りと異なる
最大の要素

表情

【社会実験】

- ・「新たな魅力」の要素
 - 新たなターゲット
 - 新たな賑わい
(交流、多様な活動等)
 - 居心地の良さ
 - 人材

47

6. 次回 第8回協議会予告

48

6. 次回 第8回協議会予告

<報告事項(案)>

- ・効果検証のとりまとめ
- ・各委員との個別意見交換にて寄せられた意見
- ・ビジョンの骨組み、大項目 など

<議論内容(案)>

このエリアの将来の**顔の骨格**と**表情**について(求めるもの、求められるもの)

顔の骨格

- ・沿道との連携
- ・ケヤキ並木
- ・駅へのアクセス性
 - 仙台駅は重要な交通拠点
 - 「仙台駅につながる道」
青葉通が他の通りと異なる最大の要素

表情

- ・青葉通駅前エリアの魅力
 - ターゲット
 - 賑わい(交流、多様な活動等)
 - 居心地の良さ
 - 人材

49